

2025年3月期

決算補足説明資料

2025年5月12日

証券コード:3741

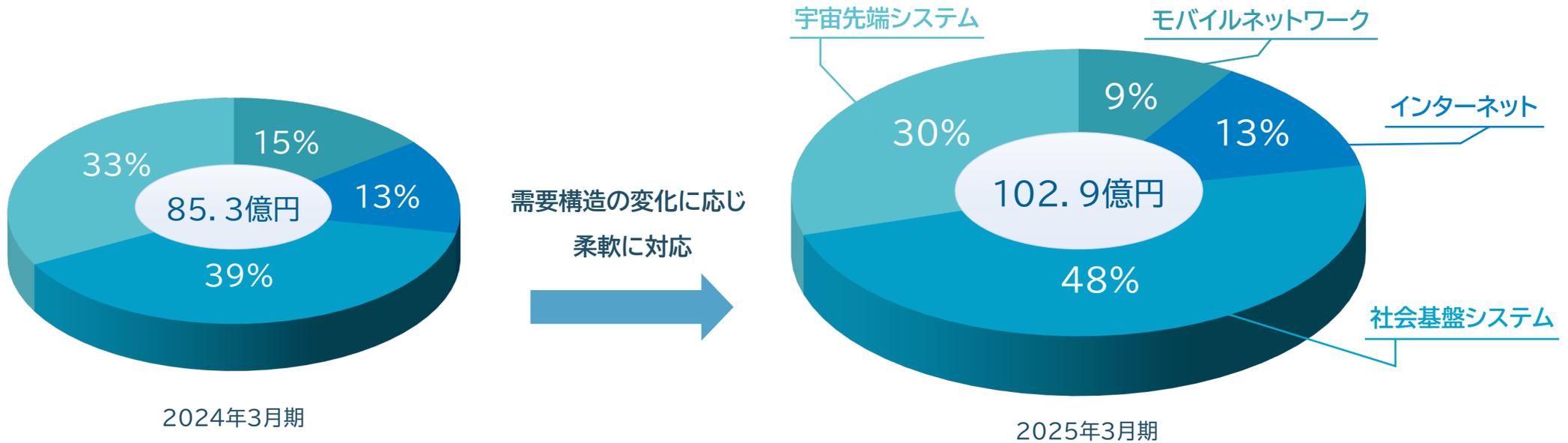


2025年3月期

決算概要

事業環境

IT需要は全体的には概ね堅調



モバイルネットワークBF

スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少

インターネットBF

非接触IC関連の開発が堅調であることに加え、民間企業向けのDX関連の開発が増加したが、全体構成比では変動なし

社会基盤システムBF

環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けが開発が引き続き好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発が大幅に増加

宇宙先端システムBF

車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロボット関連の開発が増加したが、全体構成比では減少

2025年3月期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高、
前期比で8期連続の増収増益

	当期（百万円）	前期比	利益率
売上高	10,295	+20.6%	
営業利益	1,793	+22.2%	17.4%
経常利益	1,893	+22.3%	18.4%
当期純利益	1,344	+21.6%	

受注高、受注残高ともに過去最高、
受注高は前期比で10期連続の増加

	当期（百万円）	前期比
受注高	10,787	+2.3%
受注残高	6,261	+8.5%

先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

官公庁向けの開発が好調であったことに加え、医療分野や防衛分野が大幅に増加するなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、前期比で8期連続の増収増益となった。

受注高は過去最高となり、前期比で10期連続の増加、受注残高も過去最高となった。

損益計算書

	2024年3月期 (百万円)	2025年3月期 (百万円)	前期比 (%)	修正予想(2月) (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	8,534	10,295	120.6	10,100	101.9
売上原価	5,983	7,224	120.7	7,070	102.2
売上総利益	2,550	3,070	120.4	3,030	101.3
販売管理費	1,083	1,277	117.9	1,250	102.2
営業利益 (営業利益率)	1,467 (17.2%)	1,793 (17.4%)	122.2	1,780 (17.6%)	100.7
経常利益 (経常利益率)	1,547 (18.1%)	1,893 (18.4%)	122.3	1,880 (18.6%)	100.7
当期純利益	1,105	1,344	121.6	1,300	103.4

売上原価 外注費、仕入高が大幅に増加(外注費 37.6億円、前期比30.3%増/売上高外注比率 36.6%、前期比2.7%増)

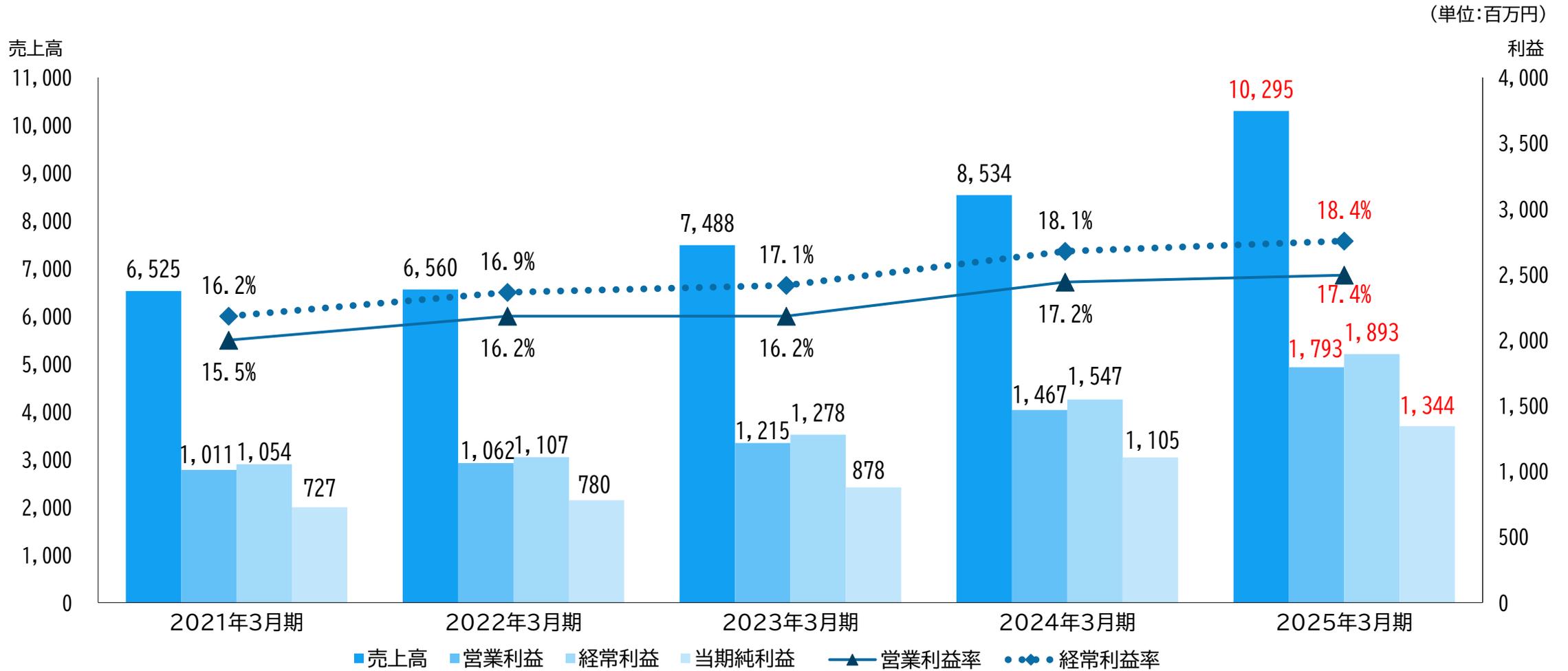
販売管理費 社員数の増加、ベースアップなどにより労務費が増加、研究開発費は151百万円で、前期比で50.4%増

営業外損益 研究開発の補助金収入が増加(39百万円、前期比18.7%増)、受取出向料も増加(43百万円、前期比32.5%増)

当期純利益 賃上げ促進税制の適用による税額控除で法人税等負担率が低下(法定実効税率30.62%に対し、法人税等負担率29.03%)

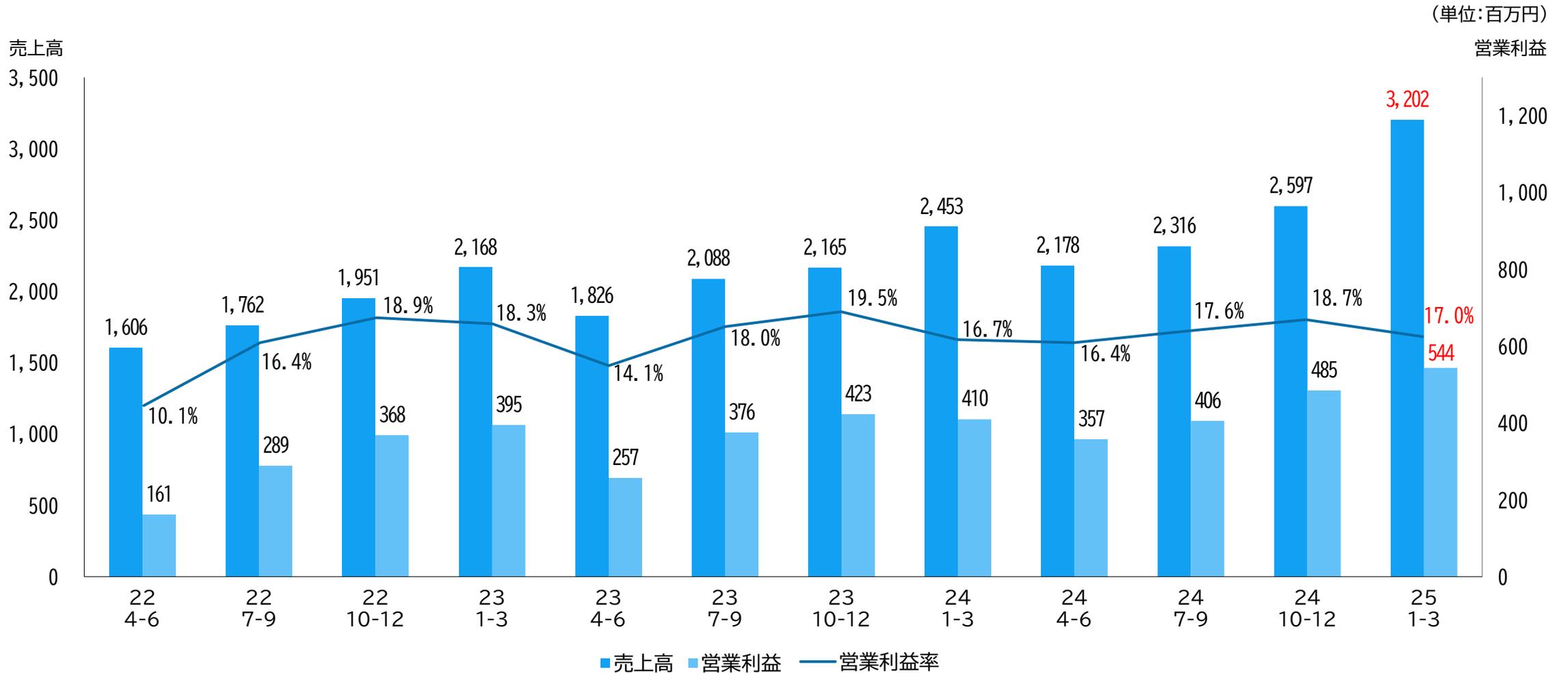
決算業績推移(過去5年)

8期連続の増収増益で、売上高、利益ともに過去最高



四半期業績推移(PL)

2021年度第3四半期から、14四半期連続の前年同四半期比増収増益

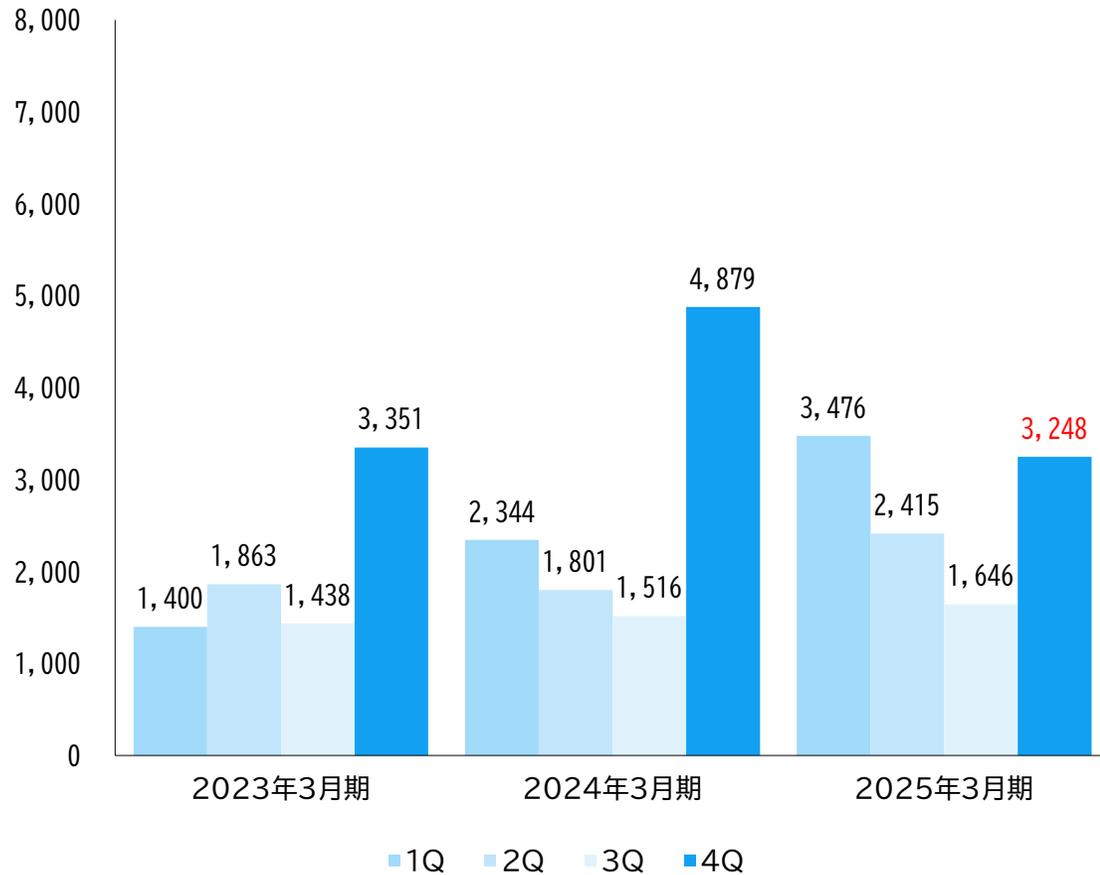


四半期業績推移(受注状況)

受注高は第4四半期を除き過去最高、受注残高は全ての四半期で過去最高

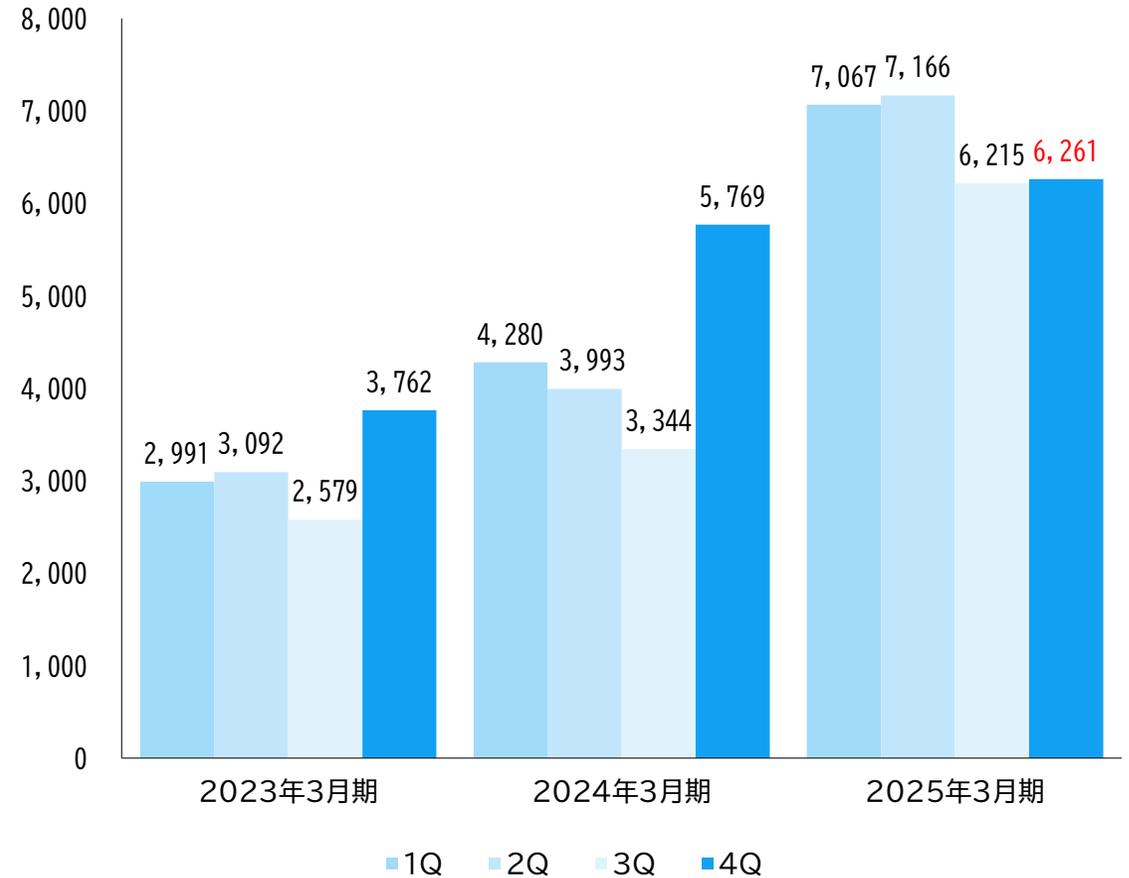
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高



BF別の状況

社会基盤システムBF、インターネットBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2024年3月期		2025年3月期		前期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
モバイルネットワーク	1,248	14.6	922	8.9	73.9
インターネット	1,155	13.5	1,336	13.0	115.6
社会基盤システム	3,325	39.0	4,972	48.3	149.5
宇宙先端システム	2,804	32.9	3,064	29.8	109.2
合計	8,534	100.0	10,295	100.0	120.6

- モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少
- インターネットBFは、非接触IC関連の開発が堅調であることに加え、民間企業向けのDX関連の開発が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発が大幅に増加
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロボット関連の開発が増加

BF別受注状況

医療分野の大型長期案件の受注により、社会基盤システムBFの受注残高が大幅に増加

ビジネスフィールド	2024年3月期		2025年3月期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前期比 (%)	受注残高 (百万円)	前期比 (%)
モバイルネットワーク	1,197	234	866	72.4	178	76.3
インターネット	1,235	323	1,442	116.8	429	132.9
社会基盤システム	5,030	4,323	5,482	109.0	4,833	111.8
宇宙先端システム	3,077	888	2,995	97.3	819	92.3
合計	10,541	5,769	10,787	102.3	6,261	108.5

※ 受注残高のうち、今期売上貢献分は4,705百万円(前期比5.9%増)、来期以降売上貢献分は1,555百万円(前期比17.3%増)

- モバイルネットワークBFは、XR(クロスリアリティ)サービス関連の受注が減少
- インターネットBFは、非接触IC関連、民間企業向けのDX関連の受注が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの受注が増加、また、医療分野や防衛分野の受注が大幅に増加
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発や宇宙ロボット関連の受注が増加

2026年3月期

通期業績見通し

2026年3月期業績見通し

継続的な成長を目指し、売上高、利益ともに増加の計画

	2025年3月期実績(百万円)	2026年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	10,295	10,700	103.9
売上原価	7,224	7,470	103.4
売上総利益	3,070	3,230	105.2
販売管理費	1,277	1,390	108.8
営業利益 (営業利益率)	1,793 (17.4%)	1,840 (17.2%)	102.6
経常利益 (経常利益率)	1,893 (18.4%)	2,010 (18.8%)	106.1
当期純利益	1,344	1,395	103.8

売上高 前期と同様の需要環境を見込み、官公庁主体の社会基盤分野のビジネスを中心に推進し、前期比約4%増を見込む

売上原価 社員数増加や待遇向上による人件費の増加、仕入高の増加などにより、増加を見込む

販売管理費 新入社員の増加などによる労務費の増加、研究開発の増加などにより、増加を見込む

営業外損益 研究開発の補助金収入の増加などにより、増加を見込む

当期純利益 前期は賃上げ促進税制の適用により増加したが、今期は税金費用を法定実効税率どおりで計算

2026年3月期BF別業績見通し

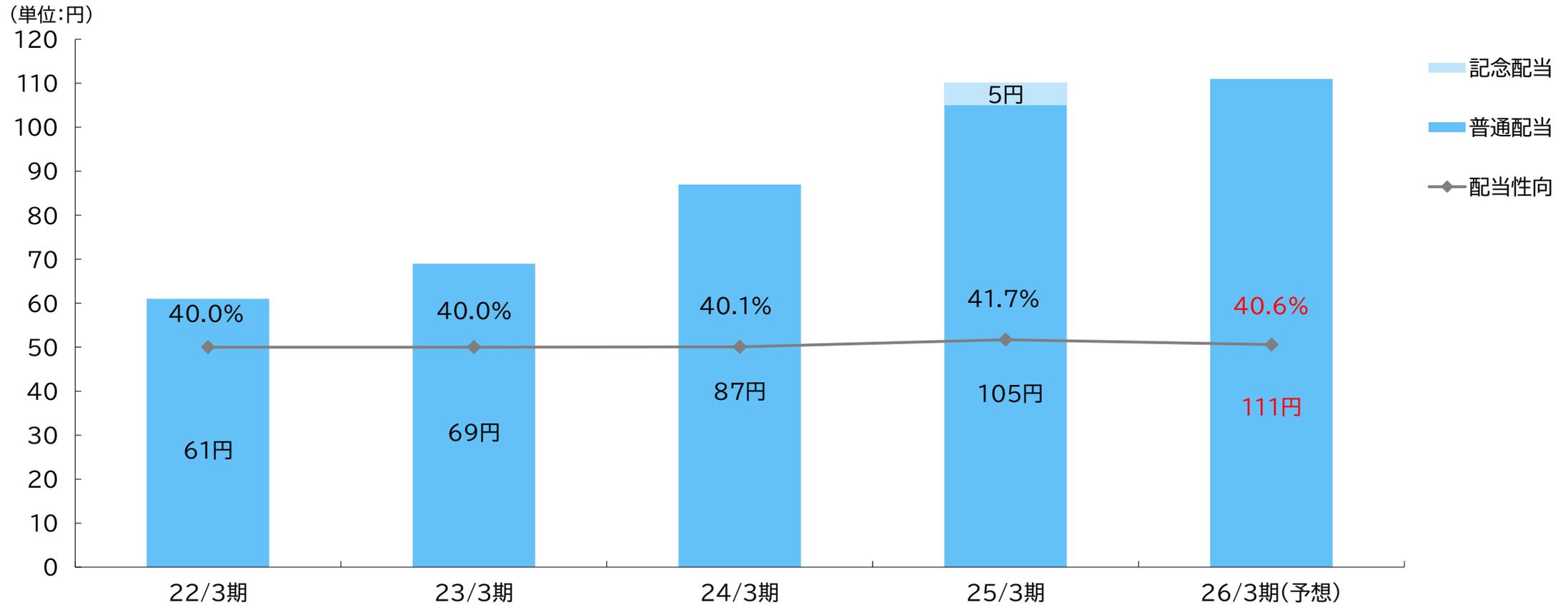
インターネットBF、社会基盤システムBF、宇宙先端システムBFが増加する見込み

ビジネスフィールド	期初の想定	予想
モバイルネットワーク	前期と同様の環境が継続し、減少	
インターネット	非接触IC関連の開発が堅調であることに加え、民間企業向けのDX関連の開発が増加し、増加	
社会基盤システム	環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が好調であることに加え、医療分野の大型案件や防衛分野の開発が増加し、増加	
宇宙先端システム	車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロボット関連の開発が堅調であることに加え、国の研究機関向けの開発が増加し、増加	

配当の方針

配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2026年3月期は、1株当たり111円の配当予想とする。



ご参考: ニュースリリース一覧(2025年1月~2025年4月)

2025年			
1月6日	<u>自動運転AIチャレンジ2024で入賞</u>	2月25日	<u>日本テクノセンター主催「レザバーコンピューティングの基礎とシステムへの適用ポイント」の講師を担当</u>
1月17日	<u>ロボデックス(ロボット開発・活用展)に出展</u>	2月26日	<u>世田谷区と「世田谷区民のITスキル向上のための包括協定」を締結</u>
1月21日	<u>宇宙航空研究開発機構(JAXA)より国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」日本実験棟 自動実験システム(GEMPAK)の開発に関する業務を受託</u>	2月26日	<u>「CNET Japan Live 2025 イノベーションが導く課題解決」に代表取締役社長 櫻井が登壇</u>
1月30日	<u>世田谷区 STEAM教育講座「宇宙ステーションではたらくロボットをプログラミングしよう!」に協力</u>	3月10日	<u>第3回金融データ活用チャレンジで入賞</u>
2月12日	<u>ロボット開発技術探求プロジェクト「SETAGAYA Eclipse」がロボット競技エンジニア選手権CoRE-1に挑戦</u>	3月12日	<u>情報処理学会第198回ハイパフォーマンスコンピューティング・第14回量子ソフトウェア合同研究発表会にて量子コンピュータに関する大阪大学との共同研究成果について講演発表</u>
2月13日	ラジオNIKKEI「ザ・マネー」に代表取締役社長 櫻井が出演	3月13日	<u>「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定</u>
2月16日	STOCK VOICE「資産形成フェスタ2025」in 東証アローズOnlineにて企業IRセミナーを開催	3月19日	<u>ロームのAIソリューション「Solist-AI(TM)」のエコシステムパートナーに参加</u>
2月22日	ラジオNIKKEI & プロネクサス共催「企業IR & 個人投資家応援イベント」(広島)にて企業IRセミナーを開催	3月24日	<u>【共同研究】量子コンピュータ・クラウドサービス向けの世界最大規模の基本ソフトウェア群をオープンソースとして公開・運用開始</u>
2月25日	<u>ROBOCIPの「産業用ロボットの機能向上・導入容易化のための産学連携による基礎技術研究」の開発を支援</u>	4月16日	<u>第6回「きぼう」ロボットプログラミング協議会(Kibo-RPC)に協賛</u>

本資料に関するお問い合わせ
株式会社セック IR担当
電話 03-5491-4770
E-mail sec.ir@sec.co.jp

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものでなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。